

八方池山莊改修工事

竣工図

施工 (株)宮尾建設

八方池山莊改修工事

竣工図

設計年月：平成14年5月

工事場所：長野県北安曇郡白馬村大字北城4487番地1外

建築本体工事		給排水衛生設備工事		電気設備工事	
A-000	表紙・図面リスト	P-001	浴室給水・給湯配管図	E-001	
A-001	建築特記仕様書 1	P-002	灯油配管経路図	E-002	
A-002	建築特記仕様書 2	P-003		E-003	
A-003	建築特記仕様書 3	P-004		E-004	
A-004	案内図・配置図	P-005		E-005	
A-005	地階平面図	P-006		E-006	
A-006	1階平面図	P-007		E-007	
A-007	2階平面図	P-008		E-008	
A-008	立面図 1	P-009		E-009	
A-009	立面図 2	P-010		E-010	
A-010	浴室平面詳細図	P-011		E-011	
A-011	西便所平面詳細図	P-012		E-012	
A-012	東便所平面詳細図	P-013		E-013	
A-013	従業員室平面詳細図	P-014		E-014	
A-014	浄化槽埋設部分詳細図	P-015		E-015	
A-015	埋出書類一覧表	P-016		E-016	

5 コンクリート工事	1 一般事項	<p>普通及び軽量コンクリート (5.1.1)</p> <p>※ JIS A 5208 (レディーミクストコンクリート) による規格品 コンクリートの塩化物総量 ※ 0.10kg/m³以下 (5.1.2)</p> <p>測定方法 (5.1.2)</p> <p>設計基準強度 (5.1.3)</p> <table border="1"> <tr> <th>Fc(N/mm²)</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>②1 Fc(N/mm²)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・18 Fc(N/mm²)</td> <td></td> </tr> </table>	Fc(N/mm ²)	適用箇所	②1 Fc(N/mm ²)		・18 Fc(N/mm ²)		8 鉄骨工事	2 鋼材	<p>種類の記号 (8.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>規格番号</th> <th>種類の記号</th> </tr> <tr> <td>JIS G 3101</td> <td>・SS400 ・SS490 ・SS540</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3106</td> <td>・SM400A,B,C ・SM490A,B,C ・SM490YA,YB ・SM520B,C</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3114</td> <td>・SMA400AW,AP,BW,BP,CW,CP ・SMA490AW,AP,BW,BP,CW,CP</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3136</td> <td>・SN400A,B,C ・SN490B,C</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3138</td> <td>・SNR400A,B ・SNR490B</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3350</td> <td>・SSC400</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3353</td> <td>・SNH400 ・SNH400L</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3444</td> <td>・STK400 ・STK490</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3466</td> <td>・STKR400 ・STKR490</td> </tr> <tr> <td>JIS G 3476</td> <td>・STKN400B ・STKN400D ・STKN490</td> </tr> </table> <p>鋼材の断面形状及び寸法 ※ 図示</p> <p>上記以外の鋼材の断面形状及び寸法 ※ 図示</p> <p>高力ボルト ・ 適用する (8.2.2)</p> <p>ボルトの径</p> <p>普通ボルト ・ ボルト及びナットの種類等 ※ 8.2.4表による</p> <p>ボルトの径 (8.2.3)</p> <p>アンカーボルト (8.2.4)</p> <p>ボルト、ナット及び鍍金の材質 ※ 構造用アンカーはSNR400B、アンカーボルト及びアンカーフレームの形状及び寸法</p> <p>溶接材料 溶接棒、ワイヤ、フラックス及びガス以外の材料 (8.2.5)</p> <p>ターンバックル</p> <p>ターンバックル鋼 ※ 割切式</p> <p>ターンバックルボルト ※ 羽子板ボルト</p> <p>デッキプレート (8.2.7)</p> <p>構造床用 材質、形状及び寸法</p> <p>合成スラブ用 材質、形状及び寸法</p> <p>床型枠用鋼板 製造所名 ()</p> <p>上記以外 材質、形状及び寸法</p> <p>径差均しモルタル (8.2.8)</p> <p>鋼収縮モルタルとする場合 製造所名 ()</p>	規格番号	種類の記号	JIS G 3101	・SS400 ・SS490 ・SS540	JIS G 3106	・SM400A,B,C ・SM490A,B,C ・SM490YA,YB ・SM520B,C	JIS G 3114	・SMA400AW,AP,BW,BP,CW,CP ・SMA490AW,AP,BW,BP,CW,CP	JIS G 3136	・SN400A,B,C ・SN490B,C	JIS G 3138	・SNR400A,B ・SNR490B	JIS G 3350	・SSC400	JIS G 3353	・SNH400 ・SNH400L	JIS G 3444	・STK400 ・STK490	JIS G 3466	・STKR400 ・STKR490	JIS G 3476	・STKN400B ・STKN400D ・STKN490
	Fc(N/mm ²)	適用箇所																															
	②1 Fc(N/mm ²)																																
	・18 Fc(N/mm ²)																																
	規格番号	種類の記号																															
	JIS G 3101	・SS400 ・SS490 ・SS540																															
	JIS G 3106	・SM400A,B,C ・SM490A,B,C ・SM490YA,YB ・SM520B,C																															
	JIS G 3114	・SMA400AW,AP,BW,BP,CW,CP ・SMA490AW,AP,BW,BP,CW,CP																															
	JIS G 3136	・SN400A,B,C ・SN490B,C																															
	JIS G 3138	・SNR400A,B ・SNR490B																															
JIS G 3350	・SSC400																																
JIS G 3353	・SNH400 ・SNH400L																																
JIS G 3444	・STK400 ・STK490																																
JIS G 3466	・STKR400 ・STKR490																																
JIS G 3476	・STKN400B ・STKN400D ・STKN490																																
3 鋼金一般	<p>スランプ ※ 5.3.1表による (5.3.2)</p> <p>単位水量 ※ 185kg/m³以下 (5.3.3)</p> <p>気温によるコンクリート強度の補正係数に係る予想平均気温 (5.3.7)</p> <p>※ 地元気象台の最近10年間の平均気温を、コンクリート打設後28日目までの予想平均気温とする。</p>	3 工作一般	<p>製作精度 (8.3.2)</p> <p>※ (社) 日本建築学会「建築工事標準仕様書6鉄骨工事 (JASS 6) 付則6 鉄骨精度検査基準」による。</p>																														
4 打込み	<p>工事報告書の様式 ※ 監督員の承認する書式 (5.5.1)</p>	4 高力ボルト接合	<p>鋼鋼の性能及び処理 (8.4.2)</p> <p>すべり係数試験の実施、試験の方法、試験片の断面図の状態</p> <p>締付け ボルトの長さが呼び径の5倍を超える場合の回転量 (8.4.6)</p> <p>高力ボルトの締付け施工法確認試験 ・ 実施する (8.4.7)</p>																														
5 重量コンクリート	<p>鋼骨の最大寸法 ※ 15mm (5.7.1)</p> <p>所要スランプ ※ 21cm以下</p>	5 溶接接合	<p>質量付加試験 (技能実務者) ・ 実施する (8.6.3)</p> <p>開孔の形状</p> <p>溶接施工 見隠れとなるエンドタブで遮断を考慮する必要がある部分 (8.6.7)</p> <p>・ 完全溶込み溶接部の余盛の高さ</p> <p>・ 部分溶込み溶接部の余盛の高さ</p> <p>・ 隅肉溶接部の余盛の高さ</p> <p>※ (社) 日本建築学会「建築工事標準仕様書6鉄骨工事 (JASS 6) 付則6 鉄骨精度検査基準 付表3 溶接」による。</p> <p>溶接の試験 完全溶込み溶接部の超音波探傷試験 ・ 適用する</p> <p>工場溶接の場合 平均出成品質限界 (AOQL) ※ 4.0% ・ 2.5%</p> <p>検査水準 ※ 第6水準 (8.6.11)</p> <p>工場現場溶接の場合 平均出成品質限界 (AOQL) ※ 4.0% ・ 2.5%</p> <p>放射線試験及びエンドタブを用いたマクロ試験 ・ 実施する</p>																														
6 流動化コンクリート	<p>使用箇所 (5.8.1)</p> <p>流動化剤 ・ 量 ・ 種類 (5.8.2)</p> <p>打込み ※ 第5節による (5.8.5)</p> <p>品質管理試験 ※ 第6節による (5.8.6)</p>	6 スタッド溶接及びデッキプレート溶接	<p>デッキプレートの溶接 (8.7.8)</p> <p>鉄骨部材に接合する場合の工法</p> <p>※ デッキプレートを鉄骨部材に密着させ、アークスポットに隅肉溶接</p> <p>合成スラブとして使用 ※ 密着溶接</p>																														
7 中重コンクリート	<p>適用 ・ する (5.10.1)</p>	7 鋼止め塗装	<p>鋼止め塗装の種類 (8.8.3)</p> <p>SRC造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内面</p> <p>耐火被覆材の接着する面</p> <p>耐火被覆材の接着する面への塗装</p>																														
8 水密コンクリート	<p>使用する場所 (5.11.1)</p> <p>所要スランプ</p>	8 耐火被覆	<p>耐火被覆材の種類及び性能 (8.9.2)</p>																														
9 鋼筋コンクリート	<p>鋼骨材の最大寸法 ※ 25mm (給てコンクリート、防水押さえコンクリートの場合) (5.12.2)</p> <p>設計基準強度 ※ 18N/mm² (5.12.3)</p>	9 工事現場施工	<p>施方等の工事現場施工の精度 (8.10.2)</p> <p>※ (社) 日本建築学会「建築工事標準仕様書6鉄骨工事 (JASS 6) 付則6 鉄骨精度検査基準 付表5 工事現場」による。</p>																														
6 型枠工事	1 材料及び構造	<p>せき板の種類 (6.2.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>使用箇所</th> </tr> <tr> <td>・ A種</td> <td>・ 複合合板</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ その他 ()</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>・ 複合合板</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ その他 ()</td> </tr> </table> <p>複合合板の芯材は針葉樹とする</p>	種別	使用箇所	・ A種	・ 複合合板		・ その他 ()	・ B種	・ 複合合板		・ その他 ()	10 溶接要約めつき工法	<p>ボルトの長さが呼び径の5倍を超える場合の回転量 (8.12.5)</p>																			
種別	使用箇所																																
・ A種	・ 複合合板																																
	・ その他 ()																																
・ B種	・ 複合合板																																
	・ その他 ()																																
2 積立て	<p>出隅部分の面取り材の形状 ※ 監督員の指示による (6.2.1)</p>																																
7 鉄筋工事	1 材料	<p>鉄筋の種類 (7.1.1)</p> <table border="1"> <tr> <th>鉄筋</th> <th>種別</th> <th>種別</th> <th>径 ()</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">※ 異形鉄筋等 (鉄筋コンクリート用)</td> <td rowspan="3">・ JIS G 3112規格品 (鉄筋コンクリート用棒筋)</td> <td>・ SD145</td> <td>※ 19以上</td> </tr> <tr> <td>・ SD235A</td> <td>※ 16以下</td> </tr> <tr> <td>・ SD250</td> <td></td> </tr> <tr> <td>※ 異形鉄筋等 (鉄筋コンクリート用 再生棒筋)</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>溶接金物 (JIS G 3551規格品) (7.1.2)</p> <p>鋼目の形状、寸法</p> <p>鉄筋の径</p>	鉄筋	種別	種別	径 ()	※ 異形鉄筋等 (鉄筋コンクリート用)	・ JIS G 3112規格品 (鉄筋コンクリート用棒筋)	・ SD145	※ 19以上	・ SD235A	※ 16以下	・ SD250		※ 異形鉄筋等 (鉄筋コンクリート用 再生棒筋)																		
鉄筋	種別	種別	径 ()																														
※ 異形鉄筋等 (鉄筋コンクリート用)	・ JIS G 3112規格品 (鉄筋コンクリート用棒筋)	・ SD145	※ 19以上																														
		・ SD235A	※ 16以下																														
		・ SD250																															
※ 異形鉄筋等 (鉄筋コンクリート用 再生棒筋)																																	
2 加工及び積立て	<p>鉄筋の継手 ※ 7.2.1表による ・ ガス圧接継手 ・ 特殊な鉄筋継手 (7.2.1)</p>																																
3 ガス圧接	<p>圧接完了後の検査 ※ 超音波探傷試験 ・ 引張試験 (7.3.5)</p>																																
4 特殊な鉄筋継手	<p>種別 (7.4.2)</p> <p>施工箇所</p> <p>検査方法及び判定基準 (7.4.3)</p>																																
8 鉄骨工事	1 一般事項	<p>鉄骨製作工場 (8.1.3)</p> <p>※ 建設省告示第1103号 (昭和54年6月1日) に基づく認定工場 (8.1.4)</p> <p>・ 全国鉄骨工業協会認定工場 [] グレード以上</p> <p>・ 監督員の承認する加工工場</p> <p>施工管理技術者 ・ 設置する (・1級 ・ 2級)</p> <p>床着を原寸図 ・ 作成する (8.1.5)</p> <p>高力ボルト及び普通ボルトのゲージ、ピッチ、ヘリあき等</p>																															

図面名称	日付	図面番号
建築工事特記仕様書 1		

9 コンクリートブロック・れんが工事	1 補強コンクリートブロック積み(縦筋)	材料 ブロックの縦筋及び厚さ 鉄筋の規格 ※SD295A 充填層、まぐさ等に使用するコンクリートの割合 レディーミクストコンクリートを使用する場合の設計基準強度 上記以外の箇所に使用するコンクリートの設計基準強度 配筋 縦筋 ※9.1.3表による まぐさ ※9.1.2表及び9.1.3表による ブロック積み ブロック間のブロックの厚さ 層の高さが1a以下 ※120mm 層の高さが1aを超える ※150mm	(9.1.2) (9.1.5) (9.1.6) (9.1.7)	12 タイル工事 ② 縦張り工法 3 陶磁器質タイル型枠先付け工法	工法 伸縮調整目地の位置 ※外壁は12.2.4表による 伸縮調整目地用シーリングの目地寸法及びシーリング材料 ※幅10mm以上、深さ7mm以上、材料はJIS A 5756による	(12.2.4)
	2 補強コンクリートブロック積み(耐力壁)	材料 ブロック (JIS A 5406 C型普通)の厚さ 充填層、まぐさ等に使用するコンクリートの割合 レディーミクストコンクリートを使用する場合の設計基準強度 上記以外の箇所に使用するコンクリートの設計基準強度 鉄筋の加工及び配筋 縦筋 ※9.1.3表による まぐさ ※9.1.2表及び9.1.3表による	(9.2.2) (9.2.3) (9.2.4)		材料 タイルの張付けモルタル ◎既製鋼合モルタルの製品製造所名()	(12.3.2)
	3 れんが積み	材料 普通れんが (JIS R 1250)の規格 ※2種 工法 普通れんが積み ※平枚積み	(9.3.1) (9.3.3)		タイル型枠先付けの種別 ・タイルシート法 ・目地ます法 ・横木法 材料 タイル (JIS A 5209)のきじの質 ・磁器質 ・セッテラ質 (磁水率3%未満) 工法 伸縮調整目地の位置 ※外壁は12.2.4表による 伸縮調整目地用シーリングの目地寸法及びシーリング材料 ※幅20mm以上、深さ10mm以上、材料はJIS A 5756による	(12.4.2) (12.4.3) (12.4.5)
	4 ALCパネル	パネル (JIS A 5416)の規格	(9.4.1)			
10 防水工事	1 一般事項	屋根外断熱工法の溶接金網の敷込み 屋根防水等の種類	(10.1.1) (10.1.2)	13 木工事 ① 一般事項	木材 構造材 (JAS)の等級 ◎2級 見えがかりとなる構造材 (JAS)の等級 ◎上小節 造作材 (JAS)の等級 ◎上小節 集成材 構造用集成材 (JAS)の種別及び等級 ・構造用大断面 (・特級 ・1級 ・2級) ・構造用 (・1級 ・2級) ・化粧びり構造用 (1等) 造作用集成材 (JAS)の種別 ・造作用 (※1等) ・化粧びり構造用 (1等) 単板の厚さ 床拵張り用合板 ※JAS (型枠用合板)の1種、JAS (普通合板)の2種1等、1種2等 (水がかり) らんま吊束 ※隠し補強を行う 防蟻処理 ◎木部は、耐蟻性のある樹脂を用いるか、非有機リン系薬剤による。 上記以外の場合は、(社)日本しろあり対策協会の仕様書による。	(13.1.3) (13.1.5) (13.1.6) (13.1.10) (13.1.13)
	2 アスファルト防水	断熱材の材質及び厚さ ※JIS A 9511 (発泡プラスチック保温材)による 押出法ポリスチレンフォーム3種のスキ層付き 防水層押さえ 伸縮調整目地の成形伸縮調整目地 ※発泡ポリエチレン伸縮調整目地材に成形軟質塩ビ製キャップをかぶせたものとし目地幅20mm、断熱材は目地材と同質のものとし幅40mm 種別 ・10.2. []表による 材料 アスファルト (JIS K 2207) ※3種 アスファルトルーフィング (JIS A 6005) ※アスファルトルーフィング1500 形状アスファルトルーフィング (JIS A 6012) ※合成繊維ルーフィング 絶縁シート ・適用する ※屋根保護防水層の場合はポリエチレンフィルム ※屋根外断熱保護防水層の場合はフラットヤークロス	(10.2.4) (10.2.4) (10.2.8) (10.2.9)		木村 構造材 (JAS)の等級 ◎2級 見えがかりとなる構造材 (JAS)の等級 ◎上小節 造作材 (JAS)の等級 ◎上小節 集成材 構造用集成材 (JAS)の種別及び等級 ・構造用大断面 (・特級 ・1級 ・2級) ・構造用 (・1級 ・2級) ・化粧びり構造用 (1等) 造作用集成材 (JAS)の種別 ・造作用 (※1等) ・化粧びり構造用 (1等) 単板の厚さ 床拵張り用合板 ※JAS (型枠用合板)の1種、JAS (普通合板)の2種1等、1種2等 (水がかり) らんま吊束 ※隠し補強を行う 防蟻処理 ◎木部は、耐蟻性のある樹脂を用いるか、非有機リン系薬剤による。 上記以外の場合は、(社)日本しろあり対策協会の仕様書による。	(13.1.3) (13.1.5) (13.1.6) (13.1.10) (13.1.13)
	3 改質アスファルトシート防水	材料 アスファルトコンパウンドの品質の仕様 製造所名()	(10.3.3)		1 表面処理 亜鉛めっき 屋外鉄部 ※鋼鉄を除き亜鉛めっきを行う 鉄の亜鉛めっきの種別 ・A種 ・B種 溶融亜鉛めっきの亜鉛の付着量の種別 ・A種 ・B種 ※C種 電気亜鉛めっきの種別 ・A種 ※B種 ・C種 亜鉛めっき面の試験 ・適用する 検査により不合格となつためっき欠陥部分の補修 ※14.2.4表による	(14.2.1)
	4 塗膜防水	露出防止 (ウレタン系) ・ []工法 非露出防止 (ゴムアスファルト系) ・ []工法 上記のうち従来工法における既設保護の材質及び設置数量 保護層を設ける場合	(10.4.2) (10.4.4)		2 長尺亜鉛めっき鋼板葺 屋根葺形式 屋根葺工法を定める専門工業者名() 材料 長尺亜鉛めっき鋼板 ・JIS G 994鋼板同等 ※JIS G 3312の屋根用コイル ・JIS G 3302の屋根用コイル ・JIS G 3317 ・JIS G 3318 ・JIS G 6744のSGのA種 長尺亜鉛めっき鋼板の厚さ ※0.4mm 下葺材料 ※JIS A 6005によるアスファルトルーフィング940 止付け釘は葺きで、長さ10mm程度	(14.3.1) (14.3.2)
	5 シート防水	種別 ・ []系ルーフィングシート張り 材料 ルーフィングシート (JIS A 6008)の規格及び厚さ 絶縁シートの材質 ※発泡ポリエチレンシート	(10.5.2) (10.5.3)		3 保証書 ※引渡し日から5年間の保証書を提出する。 長野県板金工業組合認定の施工員により施工したものは、組合、調査業者 連名の保証書 長野県板金工業組合認定の施工員以外の施工員により施工したものは、 メーカー、施工業者、調査業者連名の保証書	(14.4.1)
	6 屋根葺材	材料、工法 ・屋根葺き用化粧スレート ・セメント瓦 製造所名()、種別	(10.6.1)		4 とい 材料 といその他の材質 ※配管用鋼管 (JIS G 3452) ・硬質塩化ビニル管 (JIS K 6741) とい受け金物 ・ ※鋼製亜鉛めっき品により、14.4.2表及び14.4.3表による 硬質塩化ビニル管製といの工法 ※冷間接合、接着剤固定 鋼管製といの工法 ※14.4.4表による 保温層の厚さ ※20mm 挿入口 ・管の詰まりやすい箇所へ設ける	(14.4.3) (14.4.4) (14.4.7)
	7 シーリング	材料 10.7.1表の施工箇所以外のシーリング材の規格 ※PU-2 接着性試験 ・適用する ※耐衝撃接着性試験 ・引張接着性試験 シーリング材の充填箇所 シーリング材の目地寸法 ※10.7.2表による	(10.7.2) (10.7.4) (10.7.5)		5 重量鉄骨地下 材料 スタッド、ランナー等の種類 ※14.5.1表による (・65形 ・90形)	(14.5.2)
	8 保証書	※引渡し日から10年間の保証書 (J-3、施工業者、調査業者連名)を提出する。			6 重量鉄骨天井下 材料 野縁等の種類 (14.6.1表) 屋内 ※19形 屋外 ※25形 工法 屋外の軒天井、ピロティー天井等の補修	(14.6.1) (14.6.2)
11 石工事	1 テラソブロック張り	材料 磁石の種類 ※大理石	(11.2.1)	14 金具工事	1 表面処理 亜鉛めっき 屋外鉄部 ※鋼鉄を除き亜鉛めっきを行う 鉄の亜鉛めっきの種別 ・A種 ・B種 溶融亜鉛めっきの亜鉛の付着量の種別 ・A種 ・B種 ※C種 電気亜鉛めっきの種別 ・A種 ※B種 ・C種 亜鉛めっき面の試験 ・適用する 検査により不合格となつためっき欠陥部分の補修 ※14.2.4表による	(14.2.1)
	2 磁石及び階段石	材料その他 石 (JIS A 5003)の品質 ※2等品 仕上げの種類 ※粗磨き	(11.3.2)		2 長尺亜鉛めっき鋼板葺 屋根葺形式 屋根葺工法を定める専門工業者名() 材料 長尺亜鉛めっき鋼板 ・JIS G 994鋼板同等 ※JIS G 3312の屋根用コイル ・JIS G 3302の屋根用コイル ・JIS G 3317 ・JIS G 3318 ・JIS G 6744のSGのA種 長尺亜鉛めっき鋼板の厚さ ※0.4mm 下葺材料 ※JIS A 6005によるアスファルトルーフィング940 止付け釘は葺きで、長さ10mm程度	(14.3.1) (14.3.2)
12 タイル工事	3 テラソタイル張り	材料 種類、形状、寸法	(11.4.2)	3 保証書 ※引渡し日から5年間の保証書を提出する。 長野県板金工業組合認定の施工員により施工したものは、組合、調査業者 連名の保証書 長野県板金工業組合認定の施工員以外の施工員により施工したものは、 メーカー、施工業者、調査業者連名の保証書	(14.4.1)	
	④ 自然石張り	材料その他 石 (JIS A 5003)の品質 ※2等品 ◎小谷産安山岩		4 とい 材料 といその他の材質 ※配管用鋼管 (JIS G 3452) ・硬質塩化ビニル管 (JIS K 6741) とい受け金物 ・ ※鋼製亜鉛めっき品により、14.4.2表及び14.4.3表による 硬質塩化ビニル管製といの工法 ※冷間接合、接着剤固定 鋼管製といの工法 ※14.4.4表による 保温層の厚さ ※20mm 挿入口 ・管の詰まりやすい箇所へ設ける	(14.4.3) (14.4.4) (14.4.7)	
	① 在来工法 (モルタル下地工法)	材料 タイル (JIS A 5209)のきじの質、形状、寸法 ◎磁器質、49.5×49.5・ステアタイト系地質、 役物の使用 ◎陶質材使用 張付け用材料 既製鋼合モルタルの製品製造所名() ユニットタイルに使用する接着剤 (JIS A 5548) ※タイプ1	(12.2.2)	5 重量鉄骨地下 材料 スタッド、ランナー等の種類 ※14.5.1表による (・65形 ・90形)	(14.5.2)	

長野県住宅部

工事名

設計変更事項

年月日

14	ノンスリップ 材質 アルミ製、ビニルタイ入り 形状 異端フラットエンド ※有 (※ステンレス製・ビニル製) ・無 寸法 ・取付地帯 材質 形状 寸法 ・コーナード 材質 ステンレス製 形状 寸法 ※天井まで・F.L+1,800mmまで 施工箇所 ・重巻板 材質 形状 寸法 ・再巻板 (・屋内・屋外)	(14. 7. 4) (14. 7. 5) (14. 7. 6) (14. 7. 7)
----	---	--

15	1 一般事項 防水保護材 ※監査員の承認する製品 ・製造所名 ()	(15. 1. 1)
	2 モルタル塗り 材料 塩分含有量 ※NaCl換算0.04%以下	(15. 2. 1)
	工法 既設目地材・使用する 防水モルタル塗り 防水用の製造所名 ()	(15. 2. 3) (15. 2. 4)

16	1 一般事項 防火材料の指定 次の箇所を除く屋内の壁及び天井の仕上げ	(16. 1. 3)	
	② クリアラッカー 塗り (C, L塗り)	塗り工程 ②B種・A種 A種で目止めと着色を並用する場合の工程	(16. 6. 1)
	③ 合成樹脂エマル ションペイント塗り (E, P-I塗り, E, P-II塗り)	塗り工程 セメントけい酸カルシウム板等の下塗りに先立つ工程 ※専用の二液性エポキシシーラー等を用いる	(16. 7. 1表)
	4 ウレタン樹脂 ワニス塗り (U, C塗り)	塗り工程 1 液形油状ポリウレタンワニス塗り 目止め、着色、着色目止め ・行う 2 液形ポリウレタンワニス塗り 目止め、着色、着色目止め ・行う	(16. 9. 1表) (16. 9. 2表)
	5 保証書 施工業者 ※日本建築工学会の会員・監査員の承認する建築業者 ※引渡し日から3年間の保証書 (建築業者、調査業者署名) を提出する。		

17	1 一般事項 下地処理 シーリング用材料 ※PU-2 施工 防火材料又は耐火保護の指定 次の箇所を除く屋内の壁及び天井の仕上げ	(17. 1. 4) (17. 1. 5)
	2 厚付け仕上塗材 厚塗材C仕上げ工程 ・2回吹き (17. 2. 1表) ・1回吹き (17. 2. 2表)	(17. 2. 1)
	3 厚付け仕上塗材 セメント系厚付け仕上塗材 (C) 工程 下塗り ・有 ・無 上塗り ・有 ・無 凸部処理仕上げ ・有 ・無	(17. 3. 1)
	4 厚塗仕上塗材 合成樹脂エマルション系厚付け仕上塗材 (E) 工程 下塗り ・有 ・無 上塗り ・有 ・無 凸部処理仕上げ ・有 ・無	(17. 3. 2)
	5 マステック塗材 (MR) ローラー塗り	材料 製造所名 () 種別及び仕上げ 種別 仕上げ 備考 ・A種 凸凹状模様 ・G, P (エマルション形) ・C種 凸部押さえ模様 ・アクリル樹脂エナメル (溶剤系形) ・セグム ・B種 ※凸凹状模様 ・G, P (エマルション形) ・ゾラン ※凸凹状模様 ・アルト ※凸凹状模様 ・ウレタン樹脂クリアー (溶剤系形)

18	1 防火戸 ※建築基準法に基づく認定を受けたものとする。	(18. 1. 2) (18. 2. 1)
	② 鋼製器具 外部出入口ドア 仕様 ②B.L部品 (※B型・A型) 又は同等品 断熱 ※有 (・A型・B型・C型・D型・E型) パイプシャフトドア 形状 寸法 ※図示 材質 仕上げ ・普通サッシ (・シルバー) 仕様 ※B.L部品B型 (※200型・280型) 又は同等品 ・防音サッシ (・シルバー) 仕様 ※B.L部品C型 (※280型) 又は同等品 断熱サッシ (・シルバー・J型) 仕様 ※B.L部品又は同等品 出窓ユニット 形状 寸法 ※図示 材質 仕上げ	
	3 アルミニウム 合金製器具 ステンレスサッシ 形状 寸法 ※図示 材質 仕上げ シャッター 形状 寸法 ※図示 材質 仕上げ	
	4 ステンレス製器具 木製器具 内装ドア (・リフ・ユニット) 形状 ①片開きドア・片引き戸 寸法 ※図示 表面仕上げ ・強化紙・化粧合板 色形 ・D177/2925/1 クロゼットドア 形状 寸法 ※図示 表面仕上げ 紙張り障子 用材仕様 ※スプルス ・杉 障子紙 ※障子用レーヨンバルブ紙 和ふすま 部材種別 ※I型・II型 周縁部の仕上げ ※A種・B種・C種・D種・E種 引手 ※合成樹脂製 (※丸型・角型) ・鋼製 (・丸型・角型) ・重巻ふすま 製品の製作所名 () 部材種別 ※I型・II型 特記以外の材料及び金物は、長野県建築共同組合の長野県型公営住宅用器具 使用による。	

19	5 建築用金物 外部ドア用錠鎖 規格 ※サムターン付シリンダー錠鎖付錠鎖・シリンダー形錠鎖錠 仕様 ②B.L部品又は同等品 ドアクローザー 仕様 ②B.L部品 (※I・I-S・II・II-S) 又は同等品 種別 ・A型・B型・C型・D型 ①紙 扉1箇所につき ※3本1組 マスターキー ・作成する ・作①しない コンストラクションキー設置 ・設置①ない	(18. 4. 1)
	⑦ ガラス ガラス厚さ ②図示 ①フロート板ガラス ②B種 ・納入板ガラス ・納入型 ・納入置き ・納入板ガラス ・納入型 ・納入置き ・合わせガラス ※フロート合わせ ・型合わせ ・納入り合わせ ・強化ガラス ・フロート強化 ・型板強化 ・熱線吸収板ガラス ・熱線吸収フロート ・熱線吸収納入 (・納入置き ・納入置き ・納入型 ・納入型) 色調 (・グレー ・ブルー ・ブロンズ) ・複層ガラス 種別 図示 耐久区分 空気層の厚さ 図示 熱線反射ガラス 色調 (・グレー ・ブルー ・ブロンズ) 透へ性 耐久区分	(18. 5. 1) (18. 5. 1)

19	⑧ ガラス ガラス厚さ ②図示 ①フロート板ガラス ②B種 ・納入板ガラス ・納入型 ・納入置き ・納入板ガラス ・納入型 ・納入置き ・合わせガラス ※フロート合わせ ・型合わせ ・納入り合わせ ・強化ガラス ・フロート強化 ・型板強化 ・熱線吸収板ガラス ・熱線吸収フロート ・熱線吸収納入 (・納入置き ・納入置き ・納入型 ・納入型) 色調 (・グレー ・ブルー ・ブロンズ) ・複層ガラス 種別 図示 耐久区分 空気層の厚さ 図示 熱線反射ガラス 色調 (・グレー ・ブルー ・ブロンズ) 透へ性 耐久区分	(18. 5. 1)
	ガラス留め材 アルミニウム製 ③ガスケット (ただしFIX部はシーリング材) 樹脂製 シーリング材 鋼製 ③シーリング材 ・パテ1種 ステンレス製 ※シーリング材 ・パテ1種	(18. 5. 1)

19	① 室内空気汚染減 材料 ・合板、型枠、70-90%、復層材等の88A787'lt'の放散量は、JASに定 めるFco等級レベルのものとする ・壁紙は、88A787'lt'の放散量が150あるはこれと同等以上とする ・接着剤、塗料は、88A787'lt'を含まないもので、H&D、M&Dの量力少ないもの	
	2 天然水化複合 フローリング張り 種別 樹種 工法 備考 ・A種 ぶな ・接着剤用釘止め工法 ・B種 なら ・釘止め工法 ・C種 くれ ・接着工法 ・D種 ・特殊工法	※2液形ポリウレタンワニス 3回塗り
	③ 量数 種別 ・A種・B種 ③C種・D種・E種 防虫加工紙	(19. 4. 1)

図面名称 建築工事特記仕様書 2 日付 図面番号

太田一級建築士事務所
長野県北安曇郡白馬村大字神城 12619-1-1
TEL 0261-75-2356 FAX 0261-75-2606
一級建築士事務所登録 長野県 (北安) B第34273号
一級建築士登録 (大区) 第242347号 太田史彦

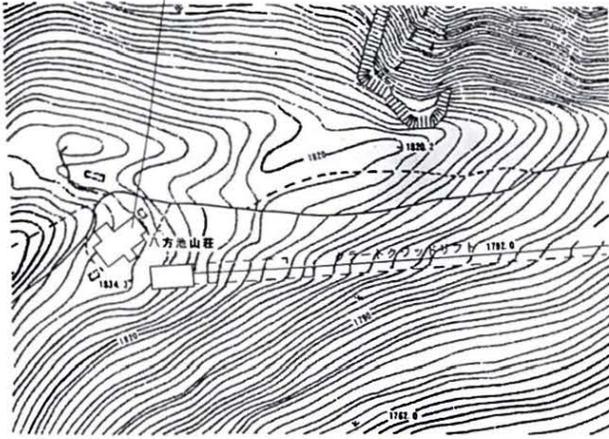
工事名 八方池山荘改修工事
図名 建築工事特記仕様書 2
作成年月日 H14.04.15 縮尺

図面番号 A-002
整理番号

19 内 装 工 事	4	ビニル床シート 張り	種別 ・ 発泡層のあるビニル床シート (・1種 ・2種 ・3種) ・ 発泡層のないビニル床シート (・4種 ・5種 ・6種) 4種、6種のエンボス加工 (・有 ・無) 工法 ・ 実付け ・ 熱溶接 (19.5.1)	20	3	手摺ユニット (落下防止用)	仕様 ※B.L.部品又は同等品 (20.1.5.) <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材質</th> <th>形状、寸法</th> <th>支持方法</th> </tr> <tr> <td>・A型用</td> <td>※アルミ製</td> <td>※図示</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・落下用</td> <td>・ステンレス製</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・窓用</td> <td>・スチール製</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種別	材質	形状、寸法	支持方法	・A型用	※アルミ製	※図示	※図示	・落下用	・ステンレス製			・窓用	・スチール製																																	
	種別	材質	形状、寸法	支持方法																																																		
	・A型用	※アルミ製	※図示	※図示																																																		
	・落下用	・ステンレス製																																																				
	・窓用	・スチール製																																																				
	5	ビニル床タイル	種別 ※水モジニアスビニル床シート ・ 半硬質ビニル床タイル ・ 硬質ビニル床タイル (19.6.1) 厚さ ※2.0mm ビニル床木 厚さ ※2.0mm 高さ ※60mm ・ 75mm ・ 100mm	4	手摺ユニット (補助手摺)	仕様 ※B.L.部品 (20.1.2) ・ 上記以外 (B.L.認定メーカーの部品、材料及び規格はB.L.規格) <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材質</th> <th>形状、寸法</th> </tr> <tr> <td>・廊下、階段用</td> <td>・屋外 ・ ステンレス製 ・ 合成樹脂等</td> <td>・ ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>・洗面所</td> <td>・屋外 ・ ステンレス製 ・ 合成樹脂等</td> <td>・ ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>・浴室用</td> <td>・ ステンレス製 ・ 合成樹脂等</td> <td>・ ステンレス製</td> </tr> </table> ※ユニットバス製作メーカーの仕様による	種別	材質	形状、寸法	・廊下、階段用	・屋外 ・ ステンレス製 ・ 合成樹脂等	・ ステンレス製	・洗面所	・屋外 ・ ステンレス製 ・ 合成樹脂等	・ ステンレス製	・浴室用	・ ステンレス製 ・ 合成樹脂等	・ ステンレス製																																				
	種別	材質	形状、寸法																																																			
	・廊下、階段用	・屋外 ・ ステンレス製 ・ 合成樹脂等	・ ステンレス製																																																			
	・洗面所	・屋外 ・ ステンレス製 ・ 合成樹脂等	・ ステンレス製																																																			
	・浴室用	・ ステンレス製 ・ 合成樹脂等	・ ステンレス製																																																			
	6	合成樹脂張り床	・ 弾性ウレタン張り床材 厚さ ※2.0mm (19.7.1) 工法 ※平滑仕上 ・ 防汚仕上 ・ つや消し仕上	5	郵便受箱	仕様 ※B.L.部品 (・A型 ※AM型 ・B型 戸用) (20.1.6.) 又は同等品 材質 (※ステンレス) 形状、寸法 ※設置員の指示による																																																
	7	カーペット敷き	※タフデットカーペット ・ タイルカーペット 種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種 バイル長さ (19.8.2) 下敷き材 ※発毛フェルト第2種2号 厚8mm ・ 敷 敷込工法 ※グリッパー工法 ・ 全面接着工法	6	収納用ハシゴ段	仕様 ※B.L.部品又は同等品 (20.1.7.)																																																
	8	普通合板	種別 ※ (・3種 ・ 国内産種別) (19.9.1)	7	スリーブ	材質 ※20.2.1表による ・ 鋼管 ・ 硬質塩化ビニル管 ・ 亜鉛鉄板 ・ つば付き鋼管 ・ 紙チューブ (20.2.3)																																																
	9	特殊加工化粧合板	材料 ※19.9.1.5(1)、(2)による	8	丸環	材質 ※ステンレス鋼SUS304																																																
	10	難燃合板	種別 ・ 両面炭素繊維材 (生地のまま又は透明塗料塗り) ・ しな (不透明塗料塗り) (19.9.5)	21	1	材料	※JIS A5208に適合する粘土瓦とし、設物その他は留付け穴付とする 釘は鋼またはステンレスのスクルー釘とし、長さ45mmから50mmとする 屋根縁は鋼またはステンレスで径1.2mm以上とする																																															
11	化粧石膏ボード	止付け方法 合板類の張付け ・ A種 ※B種	2	仕上げ	※いぶし瓦 ・ ゆう瓦瓦 ・ 無ゆう瓦																																																	
12	ボード類の工法	セッコウボードの種目処理工法 <table border="1"> <tr> <th>種目処理の種別</th> <th>石膏ボードの種別</th> </tr> <tr> <td>・ 目隠し工法</td> <td>2種目</td> </tr> <tr> <td>・ 実付け工法</td> <td>2種目</td> </tr> <tr> <td>・ 実付け目地工法</td> <td>2種目</td> </tr> <tr> <td>・ 種目処理工法</td> <td>2種目</td> </tr> </table>	種目処理の種別	石膏ボードの種別	・ 目隠し工法	2種目	・ 実付け工法	2種目	・ 実付け目地工法	2種目	・ 種目処理工法	2種目	3	留めつけ	瓦根 瓦の高き足寸法に割り合わせ全部継木1本毎に釘打ちとする 軒先瓦 葺り (※3枚 ・ 2枚) まで、1枚毎に鋼線 (18以上) で2ヶ所 着くは、ステンレス釘留めとする 袖瓦 2列まで、鋼線又は鋼釘、ステンレス釘で2ヶ所留めとし、下階縁 の通りに注意する 平瓦 葺り4枚毎にステンレス釘留めとする 棟下に入る平瓦は、1枚毎にステンレス釘留めとする 留止瓦 2列どりとする 棟瓦 棟の瓦は選別し、大面用棟上は2段目のしより内側に入れる																																							
種目処理の種別	石膏ボードの種別																																																					
・ 目隠し工法	2種目																																																					
・ 実付け工法	2種目																																																					
・ 実付け目地工法	2種目																																																					
・ 種目処理工法	2種目																																																					
13	壁紙張り	接着材 ※耐水ビニル系2種目19形とJIS A 5922の規格品を混合したもの (19.10.1)	22	1	床	遮断層の材料 ※川砂又は山砂 (22.5.2) 凍上層の材料 ※切り込み砂利 土材料 預土処分 ※留地内に敷き均し 支持力比 (CBR) 試験 ・ 行う ・ 行わない (22.5.3)																																																
14	単板壁紙目板	使用量 ※面積換算量 (乾燥重量) 60g/m ² 以下 材料 ※信州産業社 (信州産業社工業認定工場の製品又は県林業協会センター の指導を受けた県内工場で加工した監督員の承認する製品)	2	踏盤	踏盤材料の種別 ※再生クラッシュラン (RC-40) ・ クラッシュラン (C-40) ・ クラッシュランスラグ (CS-40) (22.5.4)																																																	
15	断熱・防露工事	・ 内断熱 <table border="1"> <tr> <th>施工部分</th> <th>材料</th> <th>種別</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td rowspan="4">天井 (最上層)</td> <td>・ グラスウール10K</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 環境発泡ポリイソシアヌレート</td> <td>2種b</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 8' 9257271-A保温板</td> <td>2種</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 8' 9257271-A+138埋合板</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">外壁</td> <td>・ グラスウール10K</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 環境発泡ポリイソシアヌレート</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ポリイソシアヌレート保温板</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">床 (1階土間)</td> <td>・ 硬質ポリイソシアヌレート保温板</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 8' 9257271-A保温板</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>開口部廻り充填</td> <td>・ 環境発泡ポリイソシアヌレート</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> ・ 8' 9257271-A保温材裏打ち型枠合板 使用箇所 ・ 厚さ ・ ・ 8' 9257271-A 種別 ※1種 (厚さ0.1mm) ・ 厚さ0.15 mm ・ 外断熱 昭和60年建設省住居第610号による認定工法で防火性能試験に合格した工法 耐火時間 ※1時間 ・ 2時間 種別及び工法 ※19.11.2による ・ 壁 (※あて張り工法 ・ 先行込み工法)	施工部分	材料	種別	厚さ(mm)	備考	天井 (最上層)	・ グラスウール10K				・ 環境発泡ポリイソシアヌレート	2種b			・ 8' 9257271-A保温板	2種			・ 8' 9257271-A+138埋合板				外壁	・ グラスウール10K				・ 環境発泡ポリイソシアヌレート				・ 硬質ポリイソシアヌレート保温板				床 (1階土間)	・ 硬質ポリイソシアヌレート保温板				・ 8' 9257271-A保温板				開口部廻り充填	・ 環境発泡ポリイソシアヌレート				3	コンクリート舗装	早強セメント ・ 使用する ※使用しない 注入目地材料 ※低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ 汚接金網 網目の形状寸法 ※網目150mm 鉄線径6mm
施工部分	材料	種別	厚さ(mm)	備考																																																		
天井 (最上層)	・ グラスウール10K																																																					
	・ 環境発泡ポリイソシアヌレート	2種b																																																				
	・ 8' 9257271-A保温板	2種																																																				
	・ 8' 9257271-A+138埋合板																																																					
外壁	・ グラスウール10K																																																					
	・ 環境発泡ポリイソシアヌレート																																																					
	・ 硬質ポリイソシアヌレート保温板																																																					
床 (1階土間)	・ 硬質ポリイソシアヌレート保温板																																																					
	・ 8' 9257271-A保温板																																																					
開口部廻り充填	・ 環境発泡ポリイソシアヌレート																																																					
20	1	大型ポリバス	仕様 ③図示 又は同等品 (20.1.1) 種別 ③図示 材質 ③FRP板 ・ 化粧金属板 ・ アルミ合金板	4	アスファルト舗装	加熱アスファルト混合物の種別 (22.5.5) ・ 軟層 ・ 密粒度7.5mm配合物 (20F) 道路、歩道 ・ 細粒度7.5mm配合物 (13) ・ 粗粒度7.5mm配合物 (13F) ・ 粗粒度4.75mm配合物 (13F) ・ 硬層 ※粗粒度7.5mm配合物 (20) シールコート ・ 行う ※行わない アスファルト混合物の抽出試験 ・ 行う ※行わない 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 (22.5.6)																																																
2	わがわが	仕様 ※B.L.部品 (・一般型A型 ・ 一般型B型 ・ 高齢者対応型) 又は同等品 (20.1.2) 種別 ※わがわが1型 ・ わがわが2型 ・ わがわが3型 形状、寸法(mm) 流し台 開口 (・1200 ※1500 ・ 1800) 高さ (※800 ・ 850) 奥行 (・550 ※600) シンク (※シンク550 ・ 750 ※750) コンロ台 開口 (※600 ・ 700) 高さ (※620 ・ 670) 奥行 (※600 ・ 543) A' ヲヨ' -D' (※有 ・ 無) 調理台 開口 (・300 ・ 600 ・ 限用) 高さ (※800 ・ 850) 奥行 (・550 ※600) 吊戸棚 開口 (・300 ・ 600 ・ 900 ・ 1200 ・ 限用) 高さ (※500 ・ 645 ・ 1000) 奥行 (※350 ・ 391) 収納タイプ (・一体型 ・ 分体型) 収納タイプ及びびん等の材料 ※ステンレス (・ SUS304 ・ SUS403) ・ 鋼製ホロー ・ 鋼製ホロー ・ アルミ合金 ・ 化粧板 ・ 合成樹脂成形品 付属部品 ・ 水切り網 (※ステンレス)	5	平板舗装	種別及び規格 ・ カラー平板 ・ 人研平板 ・ 洗出平板 ・ その他 () 工法 ※モルタルで敷込																																																	
3	キッチン	※キッチンキャビネットに準ずる (20.1.3)	6	れんが舗装	木れんがの防腐処理 化粧目地 (22.5.7)																																																	
			7	タイル舗装	化粧目地 伸縮調整目地 ※目地に囲まれた1区画が10㎡以下 (22.5.8)																																																	
			8	石張り舗装	石材の厚さ及び表面積 化粧目地 伸縮調整目地 ※低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ (22.5.9)																																																	
			9	カラー舗装	舗装の種別 ※顔料を使用した加熱7.5mm配合物 (22.5.10) 7.5mm配合物の抽出試験 ・ 行う ※行わない 舗装の平坦性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度 (22.5.11)																																																	
			10	透水舗装	踏盤材料の種別 ※再生クラッシュラン (RC-40) ・ クラッシュラン (C-40) ・ クラッシュランスラグ (CS-40) ・ 密粒度7.5mm配合物 (13F)																																																	

 長野県住宅部		工事名
設計	年月日	
監理		
事項		

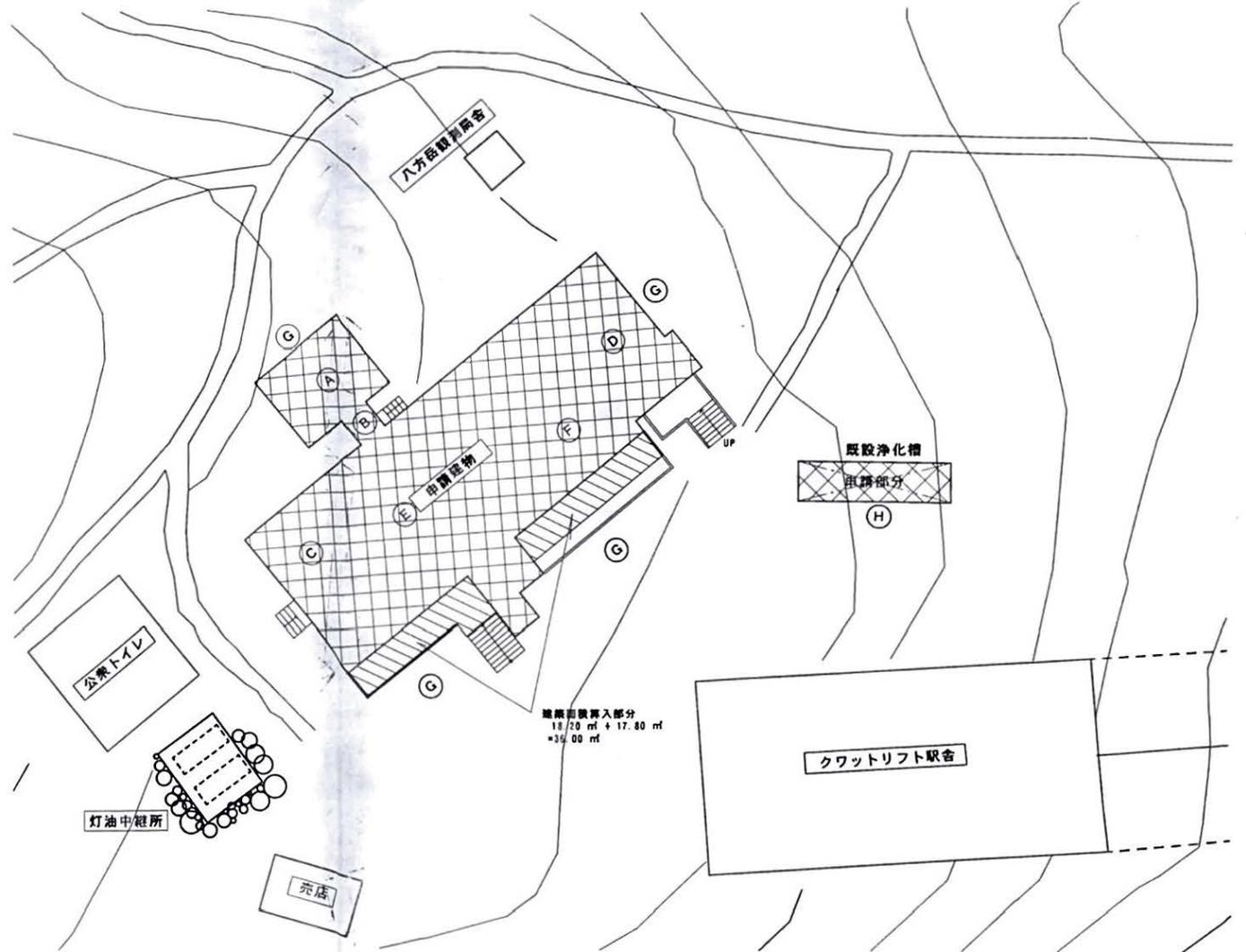
申請場所：長野県北安曇郡白馬村大字北城4487番地1外
 八方池山荘



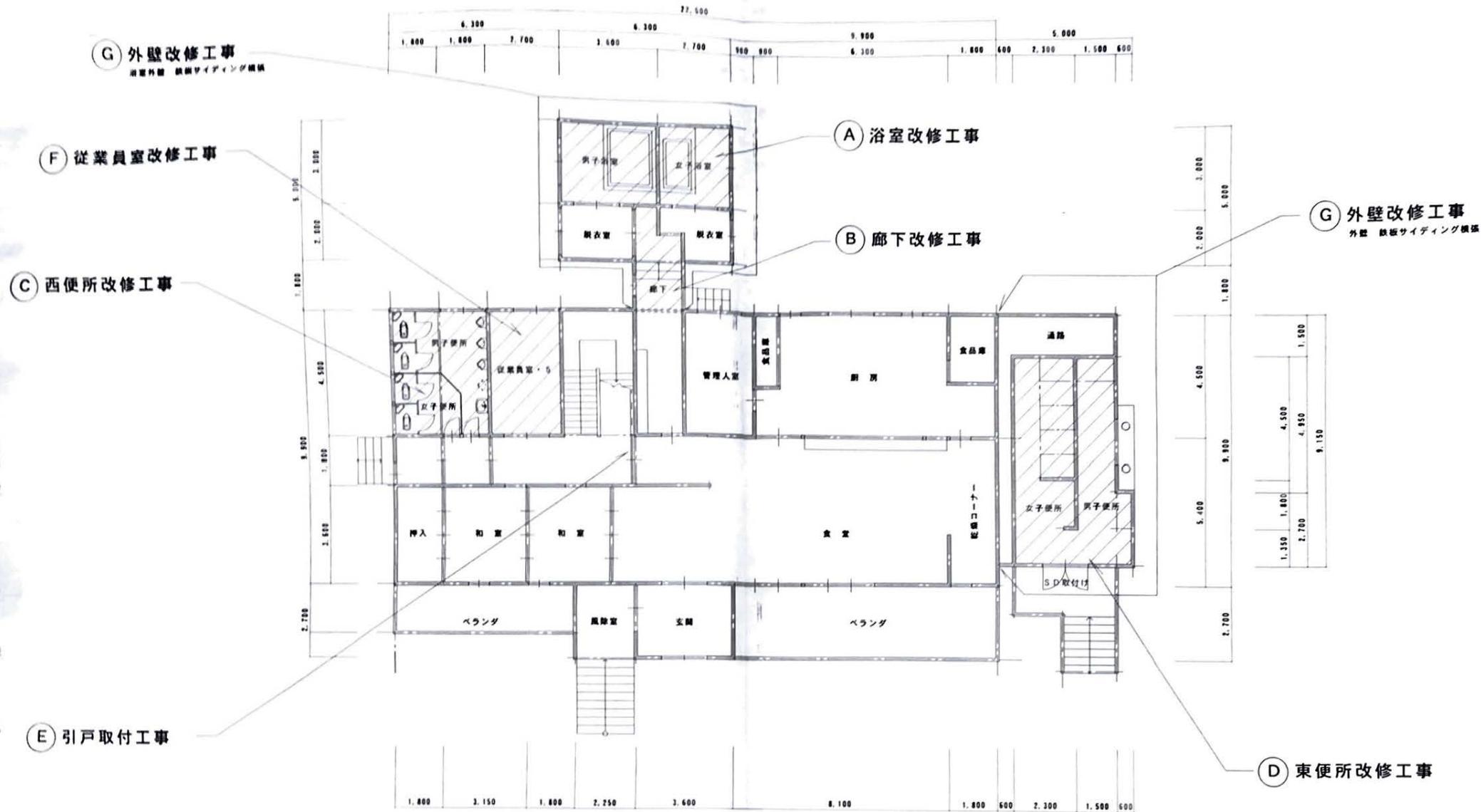
案内図

工事概要

① 浴室改修工事	天井 既存維持 壁 既存維持 一部タイル補修 床 ポリバス入替え 一部タイル補修
② 廊下改修工事	天井 一部PB補修 クロス貼替え 壁 一部PB補修 クロス貼替え 床 既存維持
③ 西便所改修工事	天井 一部石膏板補修 VP塗り替え 壁 間仕切ブース取付け VP塗り替え 床 既存維持 一部補修
④ 東便所改修工事	天井 既存維持 壁 既存維持 一部モルタル補修 床 スラブ コンクリート穴埋め 間仕切扉 木製建具取付け
⑤ 引戸取付工事	下り扉 木下地盤 PBクロス貼
⑥ 従業員室改修工事	天井 一部PB補修 クロス貼替え 壁 一部PB補修 クロス貼替え 床 タタミ入替え G-1 鉄板サイディング換装
⑦ 外壁改修工事	G-2 コンパネ VP塗り替え G-3 キーストンR.OP塗り替え コンクリート異状解体
⑧ 浄化槽埋設工事	自然石乱張り

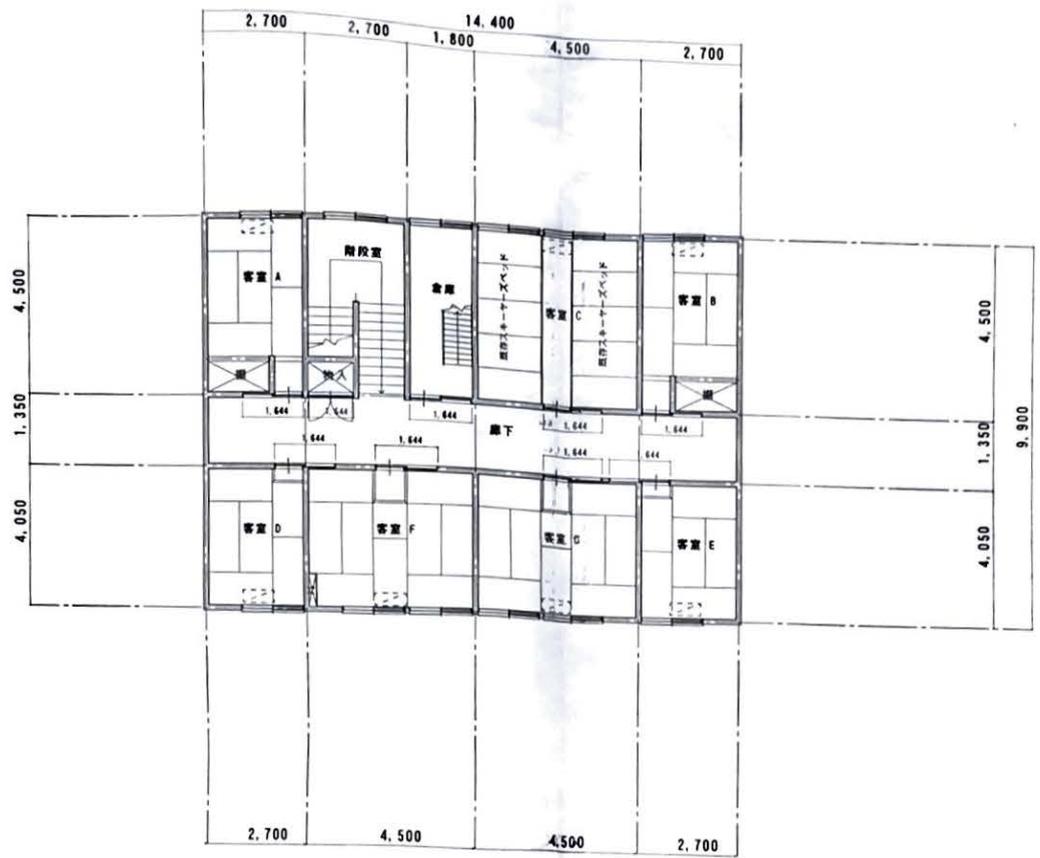


配置図 S=1/200



1 階平面図 S=1/100 (C)

設計 監理 年月日	年月日	検印	担当者	太田一級建築士事務所 長野県北安曇郡白馬村大字神城 12619-1-1 TEL 0261-75-2356 FAX 0261-75-2606 一級建築士事務所登録 長野県(北安) 日第34273号 一級建築士登録(大臣) 第242347号 太田史彦	工事名	八方池山荘改修工事	図番番号	回欄番号
					図名	1階平面図	A-006	登録番号
				作図年月日	H14-04-15	縮尺	S=1/100	



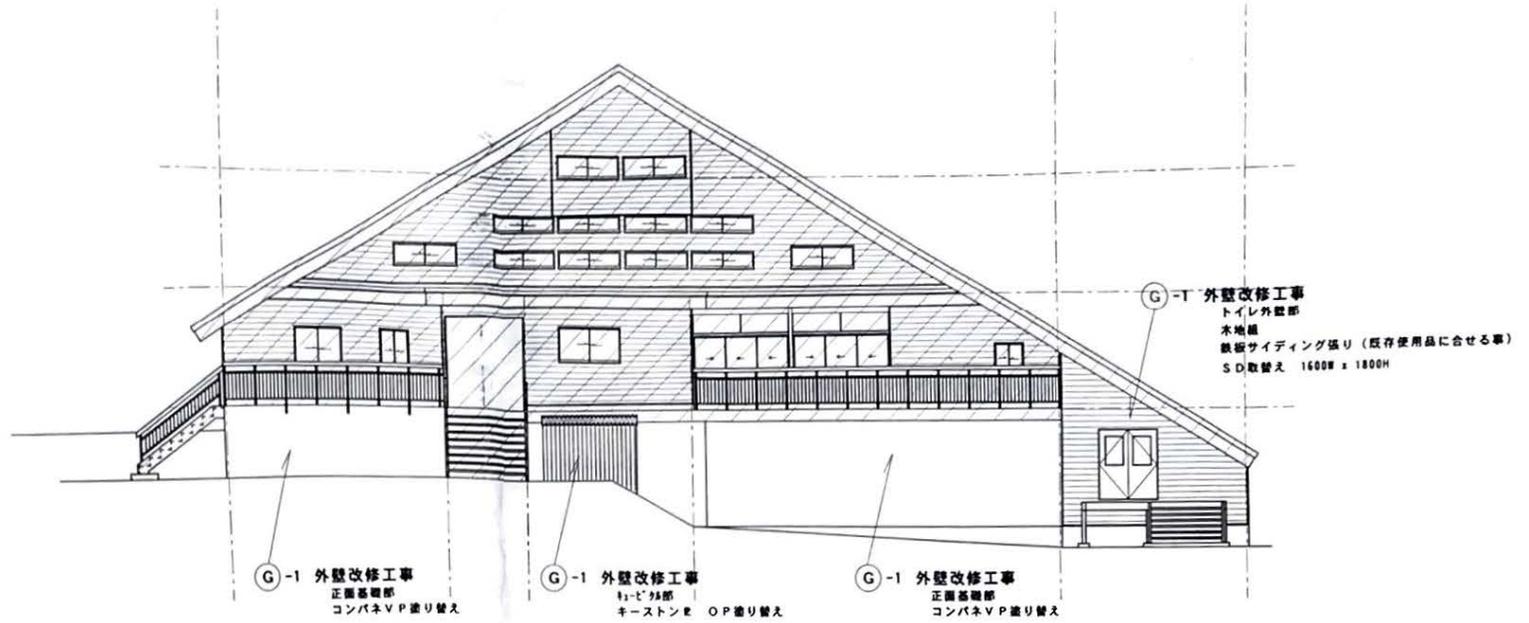
2階平面図 S=1/100

設計変更事項	年月日	検印	担当者	太田一級建築士事務所 長野県北安曇郡白馬村大字神城 12619-1-1 TEL 0261-75-2356 FAX 0261-75-2606 一級建築士事務所登録 長野県(北安) 第34273号 一級建築士登録(大臣) 第242347号 太田史彦	工事名	八方池山荘改修工事	図面番号	図面番号		
					図名	2階平面図	A-007			
					作図年月日	H14.04.15	縮尺	S=1/100	整理番号	

改修部分



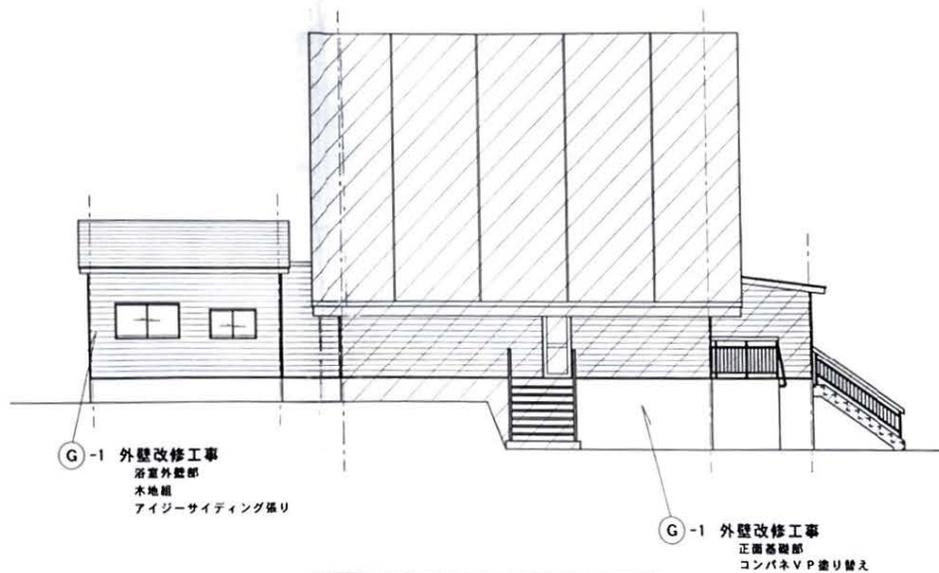
既存部分



工事概要

A	浴室改修工事	天井 既存維持 壁 既存維持 一部タイル補修 床 ポリバス入替え 一部タイル補修
	B	廊下改修工事
C	西便所改修工事	天井 一部石綿板補修 VP塗り替え 壁 間仕切りブース取付け VP塗り替え 床 既存維持 一部補修
	D	東便所改修工事
E	引戸取付工事	間仕切り用 木製扉取付け 下り壁 木下地組 PBクロス貼
F	従業員室改修工事	天井 一部PB補修 クロス貼替え 壁 一部PB補修 クロス貼替え 床 タタミ入替え
	G	外壁改修工事
H	浄化槽埋設工事	コンクリート奥突解体 自然石張張り

南立面図 S=1/100

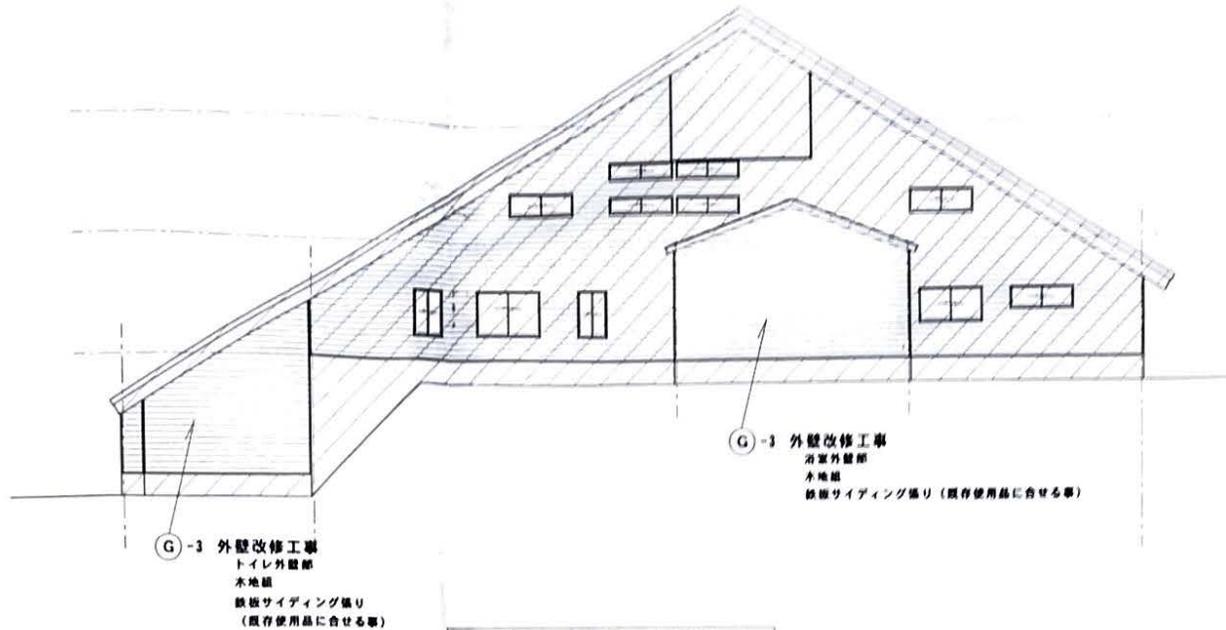


西立面図 S=1/100

設計 年月日	年月日	検査 担当者	検査 担当者	太田一級建築士事務所 長野県北安曇郡白馬村大字神城 12619-1-1 TEL 0261-75-2356 FAX 0261-75-2606 一級建築士事務所登録 長野県(北安) 第34273号 一級建築士登録(大臣) 第242347号 太田 史彦	工事名 八方池山荘改修工事	図名 立面図・1	図面番号 A-008	整理番号
設計 年月日	年月日	検査 担当者	検査 担当者		作図年月日 H14.04.15	縮尺 S=1/100		

改修部分

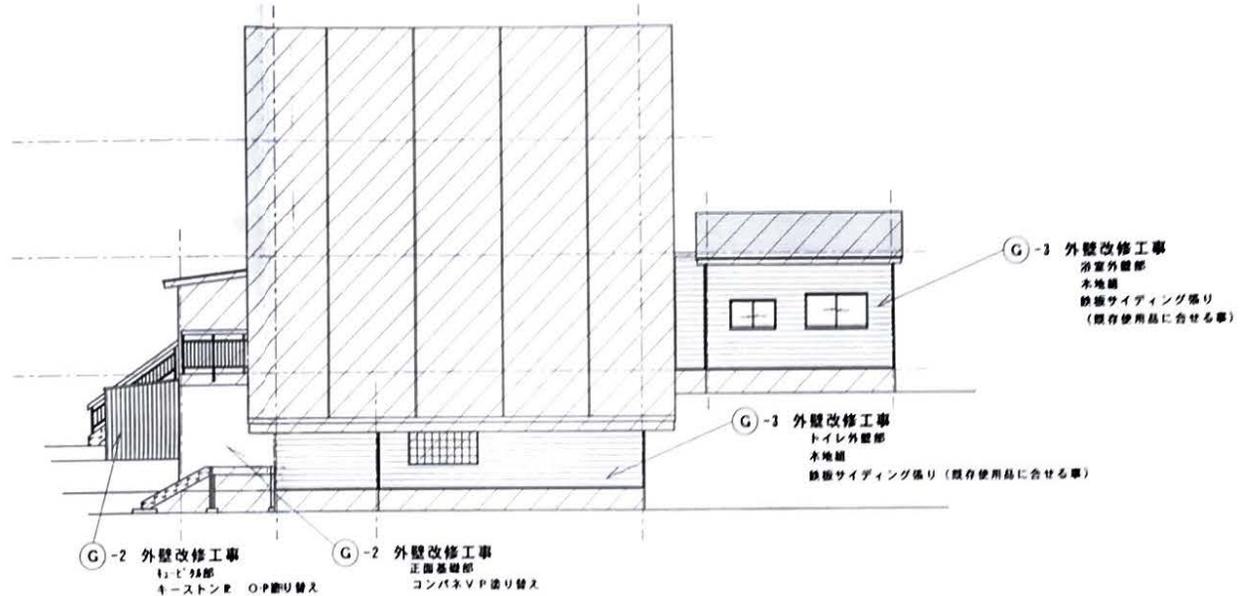
既存部分



工事概要

(A) 浴室改修工事	天井 既存維持 壁 既存維持 一部タイル補修 床 ポリバス入替え 一部タイル補修
(B) 廊下改修工事	天井 一部PB補修 クロス貼替え 壁 一部PB補修 クロス貼替え 床 既存維持
(C) 西便所改修工事	天井 一部石綿板補修 VP塗り替え 壁 間仕切ブース取付け VP塗り替え 床 既存維持 一部補修
(D) 東便所改修工事	天井 既存維持 壁 既存維持 一部モルタル補修 床 スラブ コンクリート穴埋め
(E) 引戸取付工事	間仕切用 木製扉取付け 下り壁 木下地組 PBクロス貼
(F) 従業員室改修工事	天井 一部PB補修 クロス貼替え 壁 一部PB補修 クロス貼替え 床 タタミ入替え
(G) 外壁改修工事	G-1 鉄板サイディング積張 G-2 コンパネ VP塗り替え G-3 キーストNR OP塗り替え
(H) 浄化槽埋設工事	コンクリート異変解体 自然石乱張り

北立面図 5=1/100



東立面図 5=1/100

設計変更事項

年月日

検印 担当者

太田一級建築士事務所

工事名

八方池山荘改修工事

図面番号

A-009

長野県北安曇郡白馬村大字神城 17619-1-1
TEL 0761-75-2356 FAX 0761-75-2606

図名

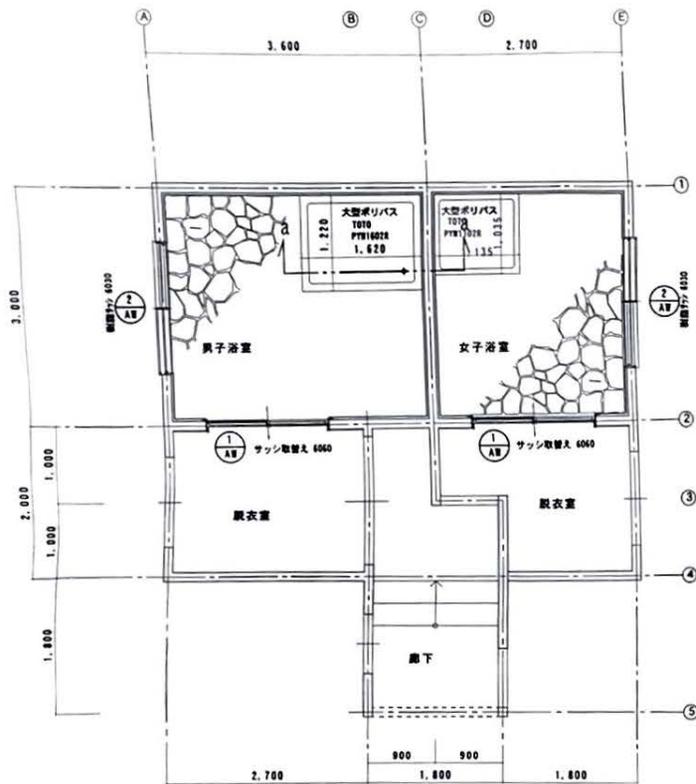
立面図・2

整理番号

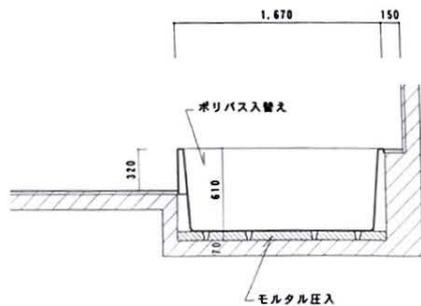
一級建築士事務所登録 長野県(北安) 第34273号
一級建築士登録(大田) 第242347号 大田史彦

作図年月日

H14-04-15 縮尺 5-1/100



浴室平面詳細図 S=1/50



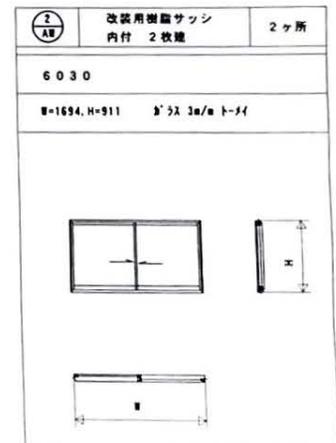
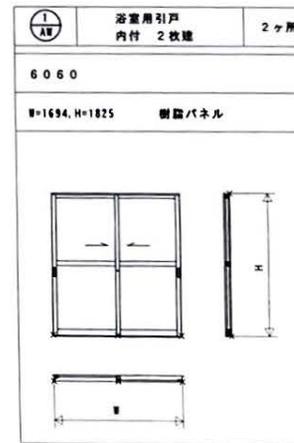
a-a 断面詳細図 S=1/30

Ⓐ 浴室改修工事

天井	既存維持
壁	タイル撤去後石張り 2通りサッシ入替えに伴いバスリブ張替え(更衣室側共) 出入りロサッシ取替え(1670x1760) 同上 枠取り替え(防湿・防蟻処理含む) A・E通り改裝用樹脂サッシ取付け(1670x900)
床	タイル撤去後石張り ポリバス入替え(1820x1520)(1620x1220)

Ⓑ 廊下改裝工事

天井	既存ボード撤去後 P B 9.5mm ビニールクロス貼 張替えに伴い 既製品廻り枠取り替え
壁	既存ボード撤去後 P B 12.5mm ビニールクロス貼 張替えに伴い 既製品巾木取り替え
床	既存維持



年月日

設計
監理
変更
事項

校印 担当者

太田一級建築士事務所
長野県北安曇郡白馬村大字神城 12619-4-1
TEL 0261-75-2356 FAX 0261-75-2606
一級建築士事務所登録 長野県(北安) B第34273号
一級建築士登録(大臣) 第242347号 太田史彦

工事名 八方池山荘改修工事

図名 浴室平面詳細図

作図年月日 H14.04.15

縮尺 5:1=50

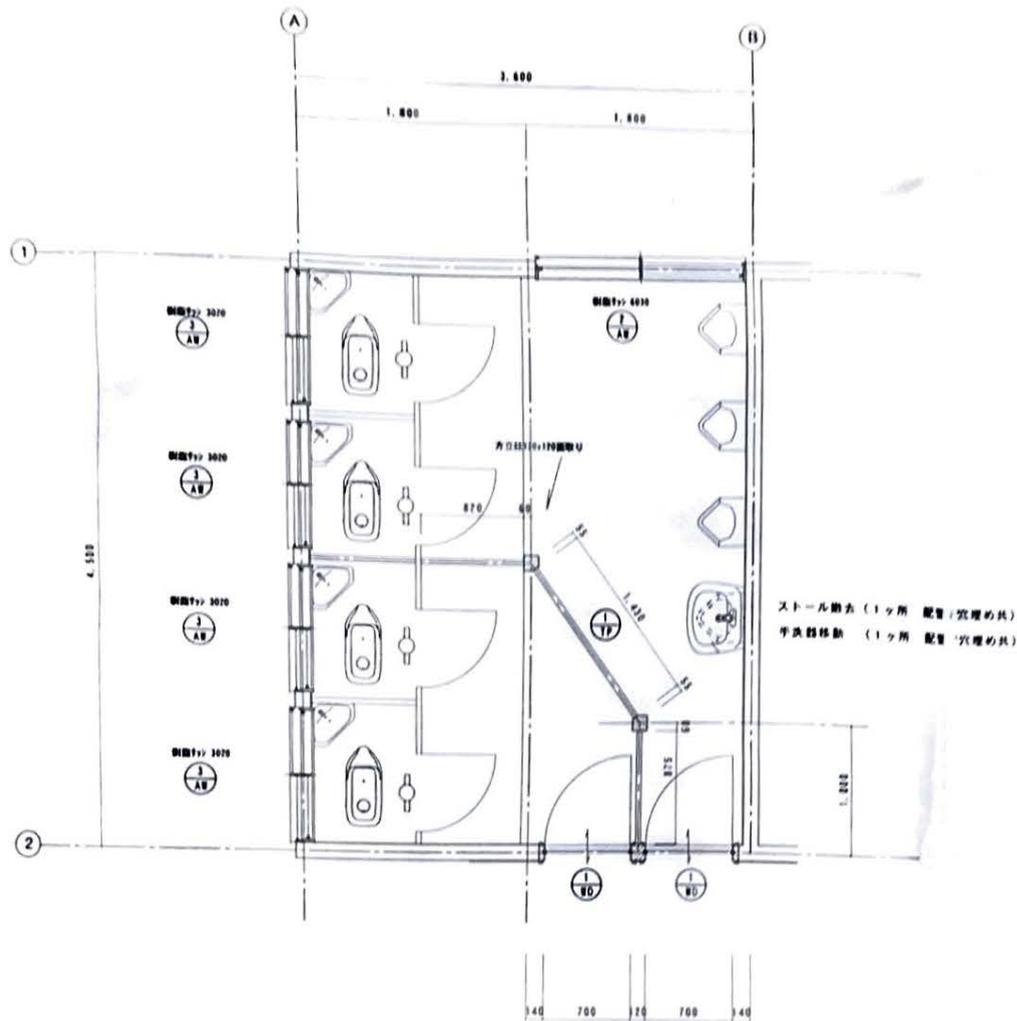
図面番号

A-010

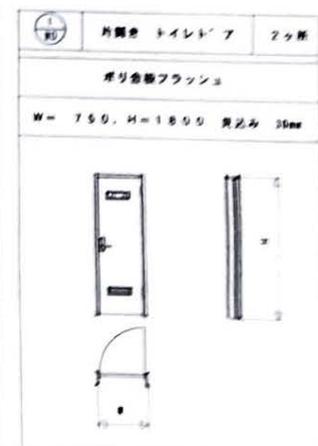
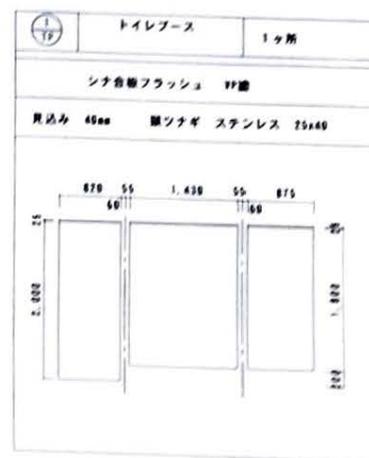
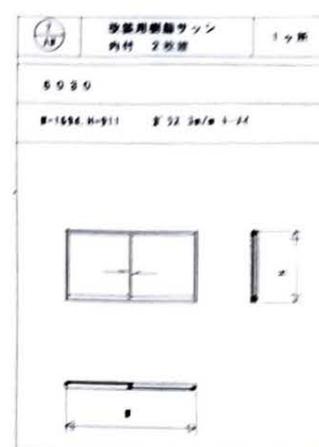
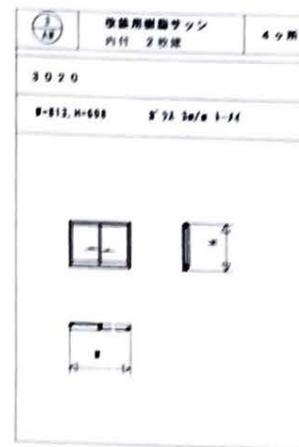
整理番号

③ 西便所改修工事

天井	既存維持 (緑藻用石綿被褥等) ヴァネリ替え
壁	既存維持 (緑藻用石綿被褥等) ヴァネリ替え 既存トイレブース ヴァネリ替え 2通り出入口ドア増設 (2ヶ所) 同上 壁紙替え (下地共) トイレブース増設 A・1通り改修用樹脂サッシ取付け (1575x950 812x452)
床	基本的は既存維持
設備	ストール棚金 (1ヶ所 配置 穴埋め共) 手洗器移動 (1ヶ所 配置 穴埋め共)
電気	照明器具増設 (4ヶ所 配置 スイッチ共)

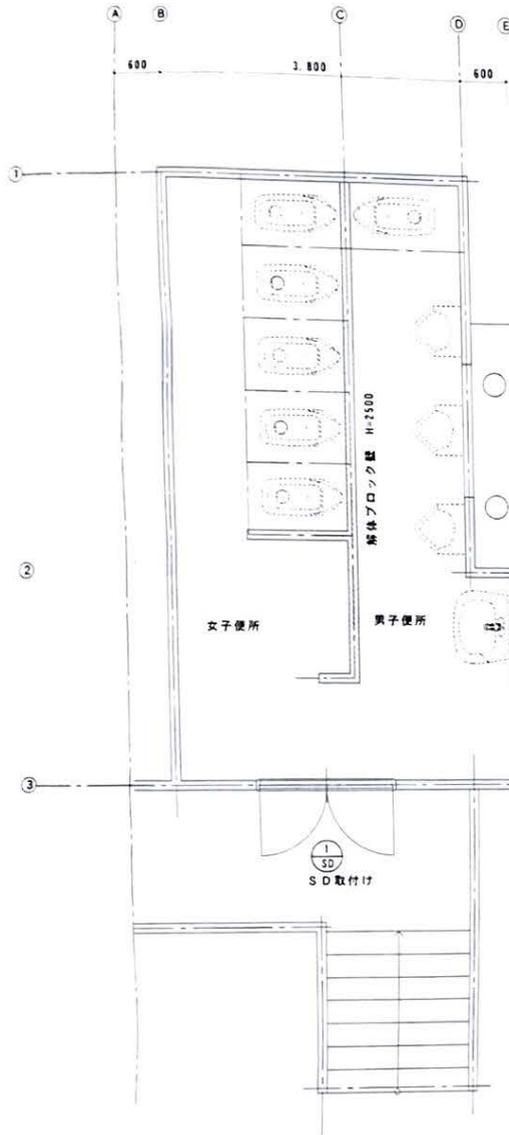


西便所平面詳細図 S=1/30



④ 東便所改修工事

天井	既存維持
壁	既存維持
	3通り スチールサッシ入替え (1700×1800)
	C通り ブロック壁撤去
	既存トイレブース撤去
床	既存衛生陶器撤去 (モルタル穴埋め共)
	解体に伴い発生した屑のうち下記のものについては 既存の便屋の中に埋め戻すものとする。 コンクリート、ブロック、石、鉄筋、陶器の破片

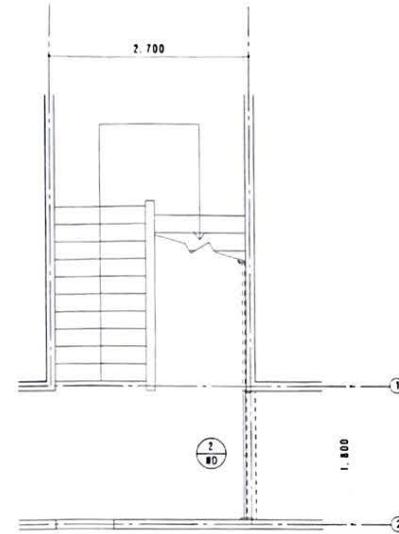


東便所平面詳細図 S=1/50

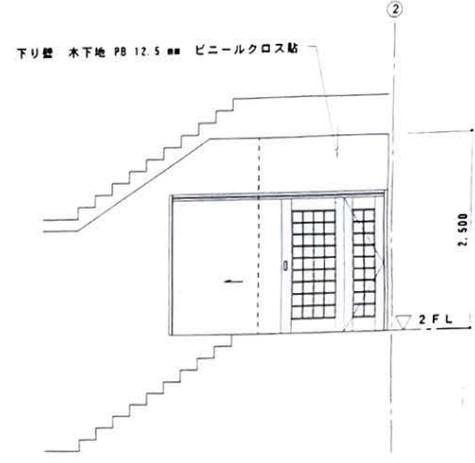
① SD	スチール両開き戸	1ヶ所
	6060 DC付き (両扉)	
	W=1700, H=1800 本納まり戻 ステンレス蓋戻り	

⑤ 引戸取付工事

天井	既存維持
壁	既存維持
	下り壁 木下地 PB 12.5mm ビニールクロス貼
	B通り片引き戸増設 (1ヶ所)



引戸部分平面詳細図 S=1/50



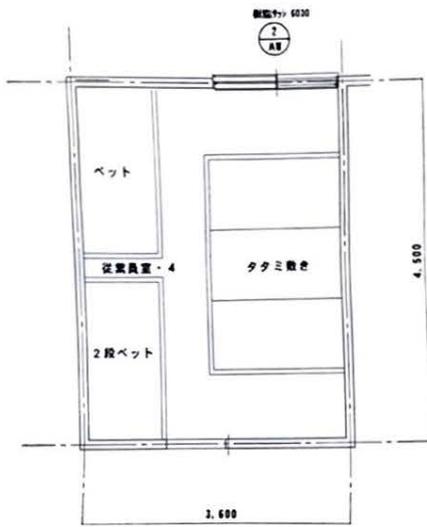
引戸部分断面詳細図 S=1/50

② BD	片引き ハンガー戸 2本建て	1ヶ所
	ビラー OSCCL 見込み36mm	
	W=1635, H=1879	

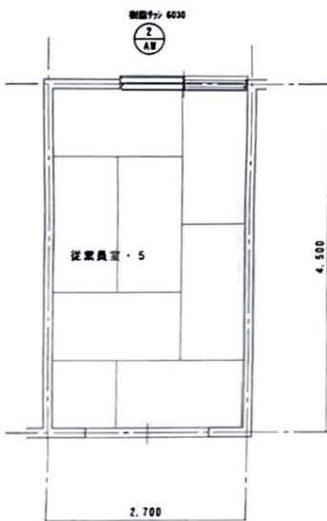
設計 変更 事項	年月日	検印	担当者

太田一級建築士事務所
 長野県北安曇郡白馬村大字神城 12619-4-1
 TEL 0261-75-2356 FAX 0261-75-2606
 一級建築士事務所登録 長野県 (北安) 第34273号
 一級建築士登録 (大臣) 第242347号 太田 史彦

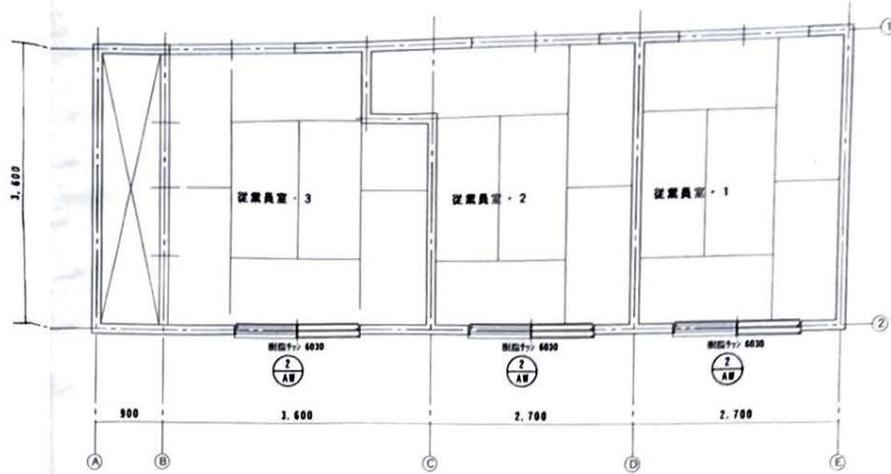
工事名	八方池山荘改修工事	図面番号	A-012
図名	東便所平面詳細図	整理番号	
作成年月日	H14-04-15	縮尺	S=1/50



従業員室平面詳細図 S=1/50



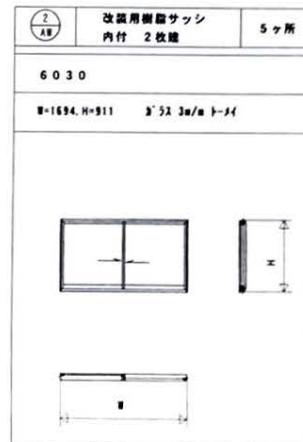
従業員室平面詳細図 S=1/50

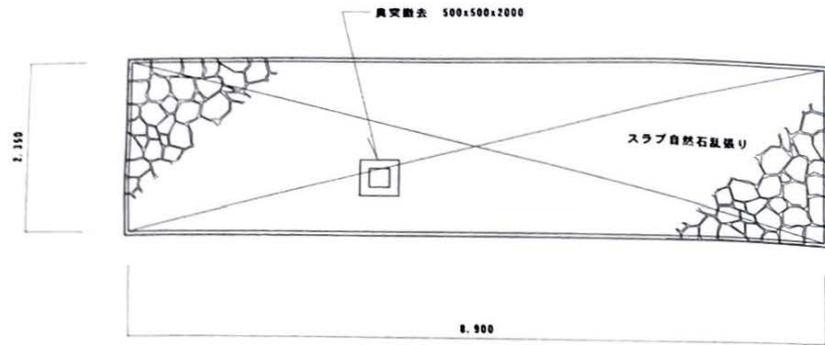


従業員室平面詳細図 S=1/50

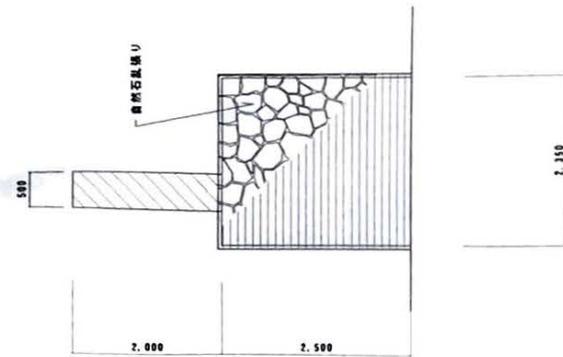
① 従業員室改装工事

天井	ビニルクロス張替え (一部 PB 9.5mm補修共)
壁	ビニルクロス張替え (一部 PB 12.5mm補修共)
床	ビニルクロス張替え 2通り改装用樹脂サッシ取付け (1670x900)
床	既存タタミ撤去後 スタイロタタミ敷き込み 7) 60

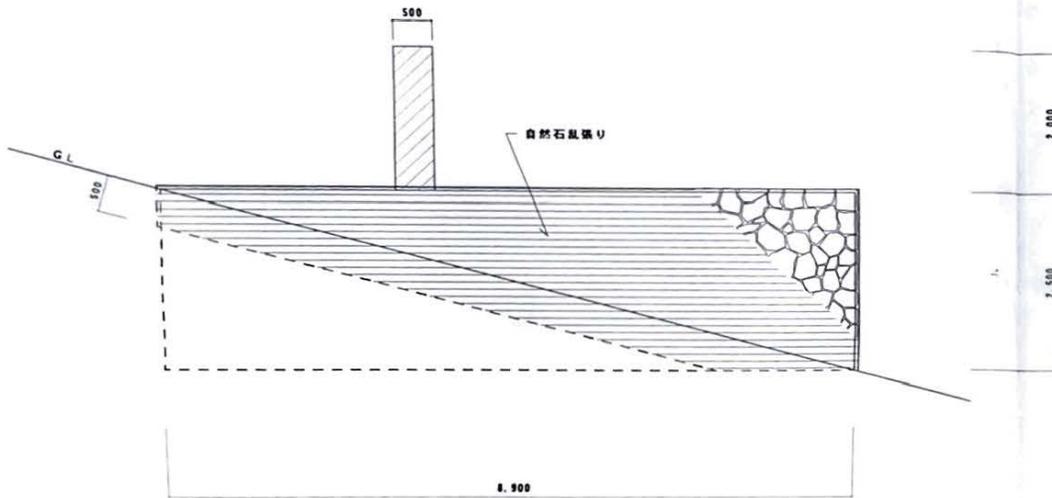




既設浄化槽平面図 S=1/100



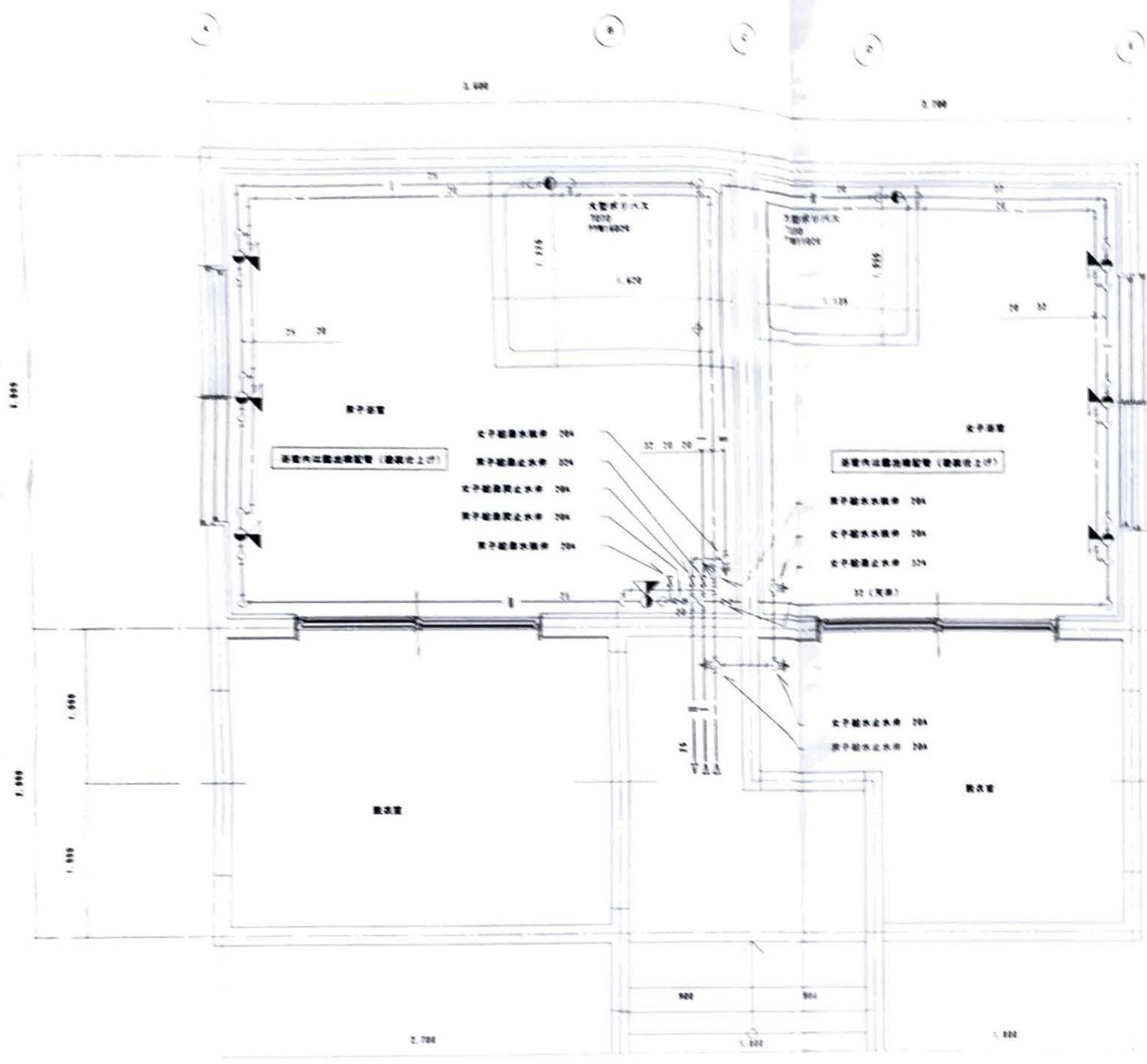
既設浄化槽立面図 S=1/100



既設浄化槽立面図 S=1/100

(H) 浄化槽埋設工事

<p>奥突 コンクリート奥突 500x500x2000</p> <p>解体したコンクリート及び鉄筋は既存の浄化槽の中に埋戻す。 解体に伴い開いた穴はコンクリートで埋めた後石張りとする。</p>
<p>スラブ 自然石乱張り</p>
<p>外壁 自然石乱張り</p> <p>自然石は小容量の安山岩と同等級とする。 石の寸法は 993φ 580²φ 以内で厚さ15~30²程度とする。 石材の仕上げの種類は指圖とする。</p>



器具表

品名	品番	数量
単一型洗面水栓	180402	2
2人用排水栓	180403	2
花洒機	1511043	2

浴室給水・排水配管図 S=1/20

